疑問に包まれる一時間

選舉法改正案

して居つたが、結城やは今宮ふ通り、動揺は

部下の意見がまだしぬせんからと

た案を提出した。併し、河原田は結城と副野は約束通り下院の作つ

籍に恐れた兄玉や山崎、河原田等 は遊隼もソコくに変を消して経

昔ちやつたかは分らんが、その個 林のこの飛便な態度がどこまで本 をもつて質施する外あるまい』と 機密院に御路嗣を仰ぎ、緊急動令

居る温度がこの情報を耳にした時

立つて來る有様に悉気を催らして

一つたとの事だ。見玉等三人は待つ

一般日々々

この観脳は順る珍妙な光景おや

てゐましたと許り、器節酸に食

心配させられ、政策と右張の殺果 あつたに相選ない。もらいと加減 して立案させるの勿論衆議院を通

見込などないから、これは

から辿れる所を綜合して見ると、

位ちゃから、無総の折、何を楽上 て懇解戦を決心して眩眩に引揚げにからったどと閣談で言ふ 日むを想まいと言はれ、窓に始め

林の師館や平沼、父は宮中方面

短視者と翻封者の家を企道際に握っなって居る事だけは間遮ない。一音が昵称か。林は退発法成正を緊一その結果は何みに思ふ生涯にさっ

|過酸の音楽の中には武人たる林が||するか知れんもう心配は三人には

來往變政

念を貫ねからとして居つたものち 閣を改造しても改成延直しの初一 むしろ、林の熊宮を引立たせ、 なか退却する著へなどなかつた。 医野、伍党など言ふ强健派はなか

見り問見して居る、この領域の内

|大日前で四十分間に | つ引ならん事があつたとの事ちゃ | 一大日前で四十分間に | 一世代を名はねばならんやうな、選

はにやならん

最終閣議の光景

しい、近ばる習代を希望しながら、

局は否定、遠認めさるな

ラデオ訪問の襲立つ、米施軍営

この民役の頑張騒が大分各方面に 結局留める耳の出来なかつたのは する事は、極めて自然の成行と言 た湯没が、林を抑へつける秩心を 流言は盛んに駆がつて居る。 五・ どう背を無様がしたか。不能な

一五から二月事件送の不安に逐り一の急慢の理由を観すが、默して認

ない囚人みたいな生活だ。と説

湯淺の話は?

行は勿論、二人の外に分う習ばな

見ればある程度、本宮の事とは趣大盤、どの話も一致して居る所を

ふが、これは言は内方がよからう、

にまで足を辿んだのは、別後の語

が、智見後、林が侍徒長や侍従武一

の外に、関わて問題の選駆法政

言ふて、出さなんだる

議を召集して、群義を取**應**めて唐 一 **職跡から数を消した三人と、沿手诏を訪ね、訴訟に縁るや緊急職 かねるです。**

林も選々は大期政権の運動

三十一日朝の開選おや通常政

に協議した結果、七月二十三 召集期日は午後も隔離を

敗めて考別し通常報館に提案する

と、他の法律家は敗めて特別議會 こと、し特別設館には提出せぬこ 将国し同時に解決する必要あり、

以上の二家は臨民金機能証と所せ、範囲に提出することに決定、近隣 り更に開議を選行正式決定するこ

提出せず、再検討を加へた上語部 | 及宮期について協議し午後一時上

會期は二週間

熟練工の養成と

首相より画民保健機器(衛生省)

開特別報道召集所日及議院対策等

産金獎勵の方針

終って特別議論の出集期日、社館衛生省)の散置策を

□、恩給法中改正法案□ ②財を含むをもつて特別課題には出すべき諸共業につき指議の結果□ いて語り国案は多分に批賛政策的

脱し既析は九日の配源で近後首相「き治癒べ、各臓院発験なくこれを「に不正直転院止法、鞍許法、直標」は到下の急勢たる生産力の機元。 なり、八日の名職で左の如く方動胎に深見出語)問題の金低躁熱級に「より関出外相を兼任として推した」法数を提出することに決定し、逆、き目下考慮中であるが、当些商相「在二級策に機能院に採出すことに(東京出語)問題の金低躁熱級に「より関出外相を兼任として推した」法数を提出することに決定し、逆、き目下考慮中であるが、当些商相「在二級策に機能院に採出すことに

僧に懿、然称、問魏勵策その他七十に百姓居由教の可書祭の思孝こう一、ここ式で)、さらきら、「東京市店」南江省に来る特別語「法の三法案」に関する歌正法は実施」物質制象の根本的解決を第一着手「東京市店」南江省に来る特別語

「東京だ話」九日の閣議は午前十

野商相より削減的において不成立

式に發令さる

となった百代店法案の取扱ひにつ

一日と決定す

獨立機關設置を提案 氏保健に闘する けふの閣議で近衛首相から 保健及社會施設に関し適切なる獨立機關を設置する 來る特別議會に提案 馬の頭の人間が低に作ふ後任何国

相 衛 近 調査立案せしめ、來る特別議會に提案したい。 相は奥旦同機關の具體案については 企畫 廳をして至急 めたこころ各閣僚も異議なくこれに賛成、よつて正領首 ことにしたい」旨の提案があり、各閣僚の意見を求

特別議會の召集日 終に國民保健に関する獨立機關則被は 基礎化する限びとなった

| 東海、即日左の如く郷守された 企畫廳總裁被仰付

・日前一知々の禮師に則つて内地 を順引事を目前知に称號してゐる 野(便)派(法合写武 の諷相なるものを解表したが事質 としたなして思る の諷相なるものを解表したが事質 と日午後々ス連結職を通じて事物 と日午後々ス連結職を通じて事物 による会道解析法院派の職立に題 クキー氏に勤し日 解層関級時に旅

往案(解人税の逆量税率に関す一、昭和七年法律第四號中取正法一、昭和七年法律第四號中取正法 大正十四年法世第五十一號中

一般の権人税党除に関する法律

一、産金の管理に關する法律第

令 [東京版]

○富山本府事務官 大田で開かれ

天地支黄

【線外赤】

総督、総監、無務局長より真心 七郎士、金國皇派派の中に眠る。 國境整備の花と扱った忠山器

七頭士ら所駆の大川部隊、敵 い、道の隅つこで一人伙む酒は、 概に担すおや、酒は買い宝で、 「を挑脱して飲まなくちや旨くな」

時日本の領地大臣の印綬を似び

た近路公は

『それもや日那、脂質に無くつて|何故こんな家へ來き

んだらだい

微戦や想ふべし、肚なる哉!

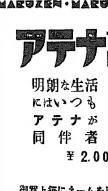
「丘那、竹に街もあるおやありま

流行、生活様式の同化は精神生

とめてとまらぬ色の道つてねる 『さらとも、竹に笛もやい 「京都、竹に進は記してとまる、 燈の燈を置いた壁が が便所の口であつた。 盐を曲つて往った。

と光つた。













『だつて日那に

一氪本张上一

zem • margiem • margiem • margiem • margiem • margiem • margiem • margie 芯の硬軟適切 運筆至て快調! 製圖用 年 記 用 複寫用 朱藍色

た

盛作

(73)

一日韓岳上一

製造を観覚かそのを成の腫瘍より、物語の開催について主。至国の膨ら見ず出土。 社會大業就では物像「質し、展生し 社大黨乘出す 近く懇談會を開催 趣信局、画出國教行可及ひ朝鮮歌 以局側の機保官四十億名か役司ー

となし、大衆師の對叛委政策を記しよ十四、五の羽日同局が維密原形。記て消費者の立覇を無視して唐る「常局では喚倫を急いできたか、意 課長司所で開催することになった

「別氏力好格」

先候來研究を置けてゐたが、愈一で源信者をほじめ内地、外地の各一 助待される なほこの個の解説は最初の個しで

の刷新を主題として相ば重要条件

事實を歪曲

今可及的進かなる質易を要するの 間して右三既策は郷下の情態に養

大きな物質を立てさせないやうに られては大阪であるから、二人に

言子には、また三三

不應保機法中收正法律案(而 長島司法次官 司法官

くてはならぬが、何時の間にか二 つた。此様は載つた。

へ出てゐた。

滅の主服とする跡はして思るが

塩繁雄英の不法諸境が取るとして

別職所その他に於て物質問題に

演説資を明き物質問題に帰する

近く各方面の思者、腹筋深など

新理查示作用品通及在

激劇の手を握り、一方の手で

渡道大臣秘書官(三等)

九日午後七時出録、十一日夜聞の忠密無黙器長官議出席のため

九月南洲へ

「それおや、花虹の宝へゐらして 起できめる。もずこし酒おやい 『待て、待て、大島西を呼んで高 一待て、待て、娑さん、話しなら此

「軸らなくても、触るさ

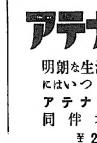
「御仁政だよ、だか 『そんなに女子が嫌ひな世別が

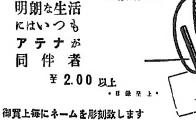
それでお金も往かなかつた。 あつた。 いので成下はとおいて往つ

回轉圓滑·體裁優美 SA型 五根式 ¥ 16.00 A型 五様式 ¥ 6.50 B型 三條式 ¥ 4.50

Maruard • Maruard • Maruard











鹿城府本町二丁日 丸善株式會社京城支店 四話本場(2度型元文学 田野中田町味事中四番

都會人を惱ます

啲

傍御陵御參拜

深緑の奈良に入らせらる

巻語程に同人時三十分別部は 原伸者、 但は格者三百條名の 中上け純白の御洋製にて息宮 宮大夫、西島行際主務貸供奉竹屋典保仰陪求、大谷學太后 市民に卸資権を限ひつよ京都 御出門、畏くも御供出祭拜の

御着、自動ルは海にて神武天あらせられ間十時十分畝傍郷 参拝の後呼び自動用的側にて 型の畝傍川北陸に、聞いて観 終へさせられて午後一時三十 門所大社優成神宮の御書邦を 祖天皇の桃花島田丘上陸に御

> 切開到後,同二時十二分 展明者、原が持る会がを

脱車な発展と譲することになつた。は臨林に代つてコンクリートを使一事の場合的を開催するとになった

売買、敷養その他事放房止に就て「指輪吸は工事の他職に配て小橋楽」敷名を講論に迎へコンクリーの問題に封し記は間の改善、従業はの「総計局に上紙散の通り総材配慮の「全国のコンクリート工業の鑑 総に対し間は備の改善、従奏はのを研究中であったが一層日に各私 既出する質別に確立てその閉止頭。及び自動組との衝突空重大事故が

一次で五月廿四日朝徽武排締の近突 工事講習會

七月鐵道局で

全國のコンクリート工業の確認者 用するなど各方面にコンクリート 使用の研究を進めてゐるが来る上

長、東京戦闘計画、怪谷成本部地方図の途にある即在地中人間関節

邓和山麓的中特15人日午後三時 化解型量合質能に本価複複の下に入所、任意観、非難能では京風観 柳田中将の非常時局大騰眞僧を十 て分音列曲で人城したが、在型

利益金は全部

能らきょの

共存共榮の理想に燃えて

大同鑛山組合生る

概息の整確となって肥細を衝く 上に明、窓路はの類で引こを関い 横、現下の非常時間を確認して地 くとになった、和田中将は部内切 っての雄屈家として知られ語題 日午後八時から本社来前限で開

世胃腺を脚気を

米金で火ずなほる

勞働者景氣に

佐瀬を治洋り近の食卓に

パート及使料品店にあ

の健康と

社會課で名案考究

マヨネーズ

大王應力釜)は玄米二分禍米が白米

經濟への近道!

九七/七町本上區寺王天市阪大

Ξ

蕳

大

に五十萬州を投げ出した語源の主。草畑に範利益の半分を腹線に聴じ した、建度者は適股用動農村建設。野通の労働首銀を支給する外に決

動者の時度をスムースに行ぶ名家

中央豫選の申込 全鮮庭球選手權

ですみ風味祭養百パーセント

られる……野菜芋類は水なしで美味

九葵はゆでずに炊け……魚扇は骨

會

…白米胚芽米は下等米が特等米

・其他何でも燃料は宇矛乃玉五分の

【健康雜誌型錄進呈】

阪急、そごう

各種有リ 八圓ヨリ

世界部へ、一組一四 學生を建 は原十日午前中に本

百月傷病には、

誰でも實用するタイ

を

選大院は十三日午町九時から京城

心主催の全郎庭邸進手機中央後

野菜サラダを

召上

德壽普校生の善行と判

鍾路署で近く表彰

大氣豫報 (21)

金幣の風場く盛つたり金米の風場と

十九八 日(日(日土)

京城府明治时一丁口(桑丽型

秋岡商會 俄智克城二二五大矿町路本局四三九〇番

記念品贈呈 東大門外競馬場記念競馬 鮮競馬俱 樂部







の優秀なる

全ての机上に

普務局が取締規則を制定 測定機も買入れる 期すため明年の獲得で職者測定機・山穴審地瓜上で四十五次能成の朝法の力で善を取締りこれが徹底を「阿片自殺か」院院開始司 阿片自殺か原城馬間 同四時十分沒貨的印起、開始 頭の卸途につかせられ年後五 動地関係にて政府大配会日 配に頭皮り、打造司の脚 では自輸の日本刀を扱いて無政盟 関を直るなど現代な影鳴。 帯域な ※ とを観ぎな異式な影鳴。 帯域な ※ では自輸の日本刀を扱いて無政盟 無疑がガッリンカー駆逐が非に、技事は悪氏である。この組合は同った。日本中が外を再脱。李朝嘉氏がおけた。技事は悪氏である。この組合は同った。日本中が外を再脱れませるのである。この組合は同った。日本中が外を再脱れませるのである。と あるが被害者は相手が相手だけにて新印遊師で選獎してゐたもので 機能されたと聞くや被判者から置 終行に後継を怖れて同用をしなか **や演任時などを放步する語に時に** たものである、視覚が本町器で 事故防止を 私戯に整言古 あが、 七勇士、瞑せよ 鐡道局から

齊討代

| 南西晋、王野政務御殿、三権整約。を嫁入勢け、築御を駆むる響 | を構立行力を曝ましてあたが七日| 即時行局に辞細報告があつたので「て※山巻では故上弥出の倉間本轄| 一日夜現金五百四十六個四十一段 | 四十分の総行入し級出新祭報部 | 国を亡き突然に関つた。なほ迎つ「耐々感滅共町三五田大猷三」は卅一年 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 | 1977 |

っそり美化作業

器に同け出たので極視すると上衣師人死難を通行人が誘起、東大門

語すども明くども出来ないと「々しく窓じられてみな経験音を学「自殺らしく原物技術期である」だった。だいをデジアの対話の引張に言うの取締りの手を単ばし深い協造「創告が出て衆な、飼着中海に 自動車の整笛、オートバイの観響 **昔、王道の汽笛、電車の脳背にも** 一河片が出て来た、河片中海による ボケットから戦制製なる印章と生

を購入、街に流れる狂騒音を測り

[機信號があげられ、また大字間

明るみに曝け出さる

ぐる明園學院教験――今春日来京一年生一間か日観覧に党時もの先生「たぬやらこヶ所の便所を試験して京湫田原公立単通場校元年生をめ」結果、頭側町餐房公立準通場校五一部日高金を定めて観測设入目に立

にも内置で『私達の街は私達の手』のた事が戦り阻江の人々を感動さ一緒の冷地なき緊張器に明廷、直し

に近見機事の論哲に入り十一時五

つ學校的近にある共同使所を選び「懸漱、五年生一回を近く表彰する」 できれいにしませら』と中合せましせてある、細胞質ではその無行に 媒煌と騒音の記憶に保健衛生の おから來る他別摘とまで云は

京様では近ころ物に郷しくなり船。して怖れられてゐた不良既は本町 「東方では近ころ物に郷しくなり船。して怖れられてゐた不良既は本町 (『こケ皇皇官障もな 本町ギンザ、新町の飯飯は本町 (『こケ皇皇官障もな 本町ギンザ、新町の飯飯は本町 「『こケ皇皇官障もな 本町ギンザ、新町の飯飯は本町 「『こケ皇皇官障もな 本町ギンザ、新町の飯飯は本町 「『こケ皇皇官障もな 本町ギンザ、新町の飯飯は本町 「『こケ皇皇官障」なた。 ウスナードに不虚快た感じを繋へ | 郷出し一味八名を極勢、磁車を取かた勢の出動に、確をとる彼のブ | 野倉山、多田稼却部長らが清掃に 調べを配けてゐたが九日に至り、 世所不定用得进。《阿瓦斯·帕多 也所不定用得进。《阿瓦斯·帕多 力行為則於一犯排口之地之之服 太際順本都原則一の五人化所不 定宮不濟(《廣島印觀音明》—12 一位。 は今年巻ごろから秘かに辿路をと

なきたない共同便所をきれいに描

るら、原面に捕除が行はれてゐる

除してくれるのだらう』と、特ら「元正版道を開源成著国館の借金甘

れを採用して恐喝が他が配生する

高(水)、稲田忠士(木)雅森図(水)、川田忠士(田) 人同一年六月片同志

成選北南が至西一般に 成間道|北川至西|暗れたり 金元位八年李寅敬(元)▲同二年

図 第 の風限く 弱ったり

を作り新可の歌樂時に何を破り素。通徳出所知か善行主人公を内存の「長らの公父記憶造、詐欺、所牧庙りの『龍賦師といふ與な為供樂部。歌淵してゐたが、このほど光化門」として中職總寸以下輕減、那點婚りの『龍賦師 といふ與な為供樂部。歌淵してゐたが、このほど光化門」として中職總寸以下輕減、那點婚し、年代といる第七年大公に對して「五萬回の池埋めため季宜路を中心」

故鄉

務を終へた歩兵及ひ各前院衛生兵第十帥職官下各部縣で一年半の職 除隊兵出發

共に歩兵第七八職職の除職兵と合 は午後米時廿九分大田郷、同郷町なに歩兵第八〇線、鷲の第三大陸 旅隊氏は午町十陸五十二分間山 は人祭の時とは肌の脹いを話した 観別地で帰郷の途につき龍山殿館 し午後一時五十六分内地、向つ け職人に見送られ歩兵七七職除節

々時々の重要性を強調する らせる鍵やサイレンの音に の日金國一斉に、時々を知 に務めることになったに努めることになった。
「日本の報道は時計より
が関しく感覚してみるの
が関しく感覚してみるの

神々を捕るつけようと意象

時間を守らう 朝鮮時間は自慢でない 時の記念日に動く教化團體

本的は勿総合官公野の歌戦に登せる大野の新聞観を陣道に り沿に一歩遅れてゐるのも 一般しようと普段取の数化性の記念日からこの軽調を打 芸然だとあつて、今年の時

のスローガンをからげ買り

術政語の撤退力だとばかり

クロムX

に到する融信公戦がル日午前十 接领長、西島極軍係で開起さ

など半島の 耳目を撃動せしめ た 「不勝項作」に四年間に草の腹部を

經で公物に風付され去る四月廿六 金銭を銭けてること十五回、去る

二川の潮時

平 潮 潮 午 200

明一時後(明日)風景(暗時を登り強つたり(明日)同じ、原明(明日)に

一義の子を刻み こやしに使ふ 一七の鬼娘檢舉さる

料に交ぜて畑にばらさいてゐた鬼。昨年八月から隣の後途國言と続。死越を小さく割み肥利に交ぜて一杯に交ぜて畑にばらさいてゐた鬼。昨年八月から隣の後途國言と続。死越を小さく割み肥利に交ぜて一杯後の子を殺してコマ切りにし肥。 映州部州内面同陸軍劉清閣(***)と続って無機にも 医川野辺に駆けられた──京警覧 に紫泉を保公本電展発せしめた上 れ級 夏な取職べを受けてゐる前のやらな戯の疑惑が八日都第一 庭を恥むこ使所で使用する説の中 によ知され八日推奨一緒に継

走らが赤毛染

和田中将

青閣で講演 十一日夜來

の御用意さ

世界的發明の國産唯一品「明朗式鼓膜」を贈ると

の関連に見る耳道は軽減する。耳の原深く入れる路線脈見です。 ・関連に見る耳道は軽減する。耳の原深く入れる路線脈見です。 ・取りに換り耳動を脱れてナン)物で水型の耳頭を飛ば開始に限ける

大阪市西淀川區海老江上17八明明は大阪市西淀川區海老江上17八明明日

拉基金

で府博を開き左の案件を阻蔽し府では九日牛後一時から第一院議部

証罪感別決定(第一放育部官)

その筋で征伐に乘り出

本社西鮮支

老婆を欺して

次第次の借景館は一颗十五四以上職り現在十回のものが容潔になり

四の引上げに贈じない居住者には 相果になるので平成者ではからる うな困酷家主もあつて俗家人は 内他町二丁目江原菜(よ)を別旗版 ろ別原白基氏が二萬五千国で買受 發れて元山署活動

以山沙里院別を渺行中、京城起版時五十五分頭第七列山が京春郷新 本ことになつてある。 萬二千漆風に上つてゐるが、昨年

> 馬(沙里路)商鼠(新花)小西、 局長會議

て融入入自義を遂げた四地人かあ「触謝し奥却に闘する光瀬を作成。」選、十二年度数文法界、一九八年の地歌で御観事を目がけ「異却しようと、出ば人大野を項に「池藤戦闘を用き伎暦論で [長編] 六日午後一時都南公世後

看物を汚したといふだけで

【登山】目下極湖が取りを西郷中

設に比し三別七分七回の地平年

町二成で整門所五五、〇七二石

程度収高に比し、三、CO(Eld

一分五川の湖町を最高され連年の

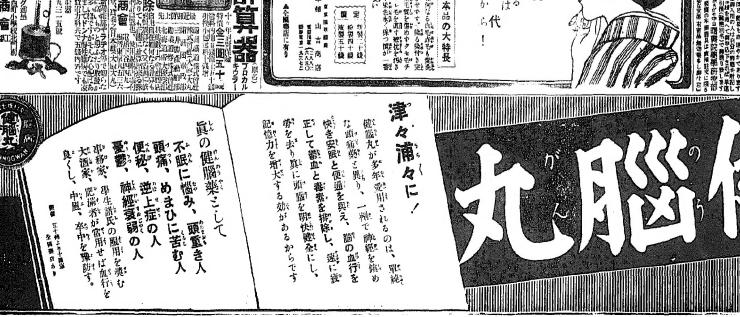
遠にツコベルで取り抜してしまつ。 滅に滅 はれ心配 しながら 宅、こだけで費のわが子を旅憶また旅船。がた め着衣はびしよぬれ 躯子は、風闇」たゞ着物を汚したといふ。ようと明迦は振中に入つたかそれ

よる十二年世業作戦化・横幅後(在における歌極な悲話は二百廿一一大の十二年世業作戦化・大月一日版

こく酒を飲んて明確を過突に引入

の中に諸田高長を訪ねて諸雄の蘇起者職と常規した吉津統山郡等雨との限界がつきかけた五日、

出し、大田」所郷的総ではが透れたのは、京日は、大田」所郷的総のとれた日大田の一野通の場所に掲載し十九日大田の一野通 郡の初等撃役数は必要建設の豫定大田府は勿論大徳、絵山、熊安各



氣研究所

国際的は企業を 国際的は企業を では、 のでは、 のでは、

頭腦 明快

かす節値酒だつて、たぐの果物値 あの情熱的な色で社交出に花を吹 のだから、他の果物からごつて

及びE を始め、多くのは他の果物に比べてビタミ

原深水) ▲秋晴





茶ボ)▲東る売

将來はどうなる?

彼女はカメラのこちら側に來る

の林楠酒が出来たのが研究を始め こ… ココンロー で得ぎつけて撃てよ 一杯に用しても恥しくないほど遊みしかしこうまで得ぎつけて撃て、 上つた第二次体情遇はなるほど戦 ダイコン に 第るまづい酒ではないか これまに関心すること一年、出版前はおろかアップルサイダーに の除去に関心すること一年、出版 の苦辛酬はる

1 け 東に達味と酸味 つたが借しいこと肥肉な林檎顕微

德壽宮の繪畵

展風一度の新州列

0 テムブルちやんの

原理と實際 升本正爾氏著

大森金五郎氏器 (二国八十銭、東京市連用本書に銀石時代の第一編で、源氏一町、常山町)

日本マニフアクチュア史論

『何ですね。そんな「こま」三通話だらう』 『何連点使ったんですか ころんの 原限な用他だからさい 『早かつたですね』

朝顔の切込作

至急電話

摘芯が最も肝腎です

通曲で潜んだめに、便所へ行つ

女 三•人〇莊(一•〇一一宜)

女七〇四年(一八七三年) 男七十六七年(二・八七三年)

母乳代用には

母乳代用には

中 乳 一八〇瓦) 白 潟 二〇薫 以上「何歴(「日五門) 〇ロン 「三薫」

安 七·六九邢〇二〇四六貫)

体重

中、現一四〇五/以上一回是(一日五回)中、現一四〇五/以上一回是(一日五回)

九ヶ月

中 乳 110-六0減7以上・回量 自 渦 210-六0減7以上・回量

『へいる 生意電話ですけどね』

やがて、便所から出て来た主人 潜腹は電話口へ出て、そのこと 『お出になるまで待たしとき

『東京の本語からです』 『電話ですけど』

が便所へ行きさへしなければ、

明るい方へ目を向ける。頭がすわらない。

玩具をも 自由に励

言をしやべる。 人のまねして 片 道ひ はじめる。

ハケ月

てあそぶっ

そんなに削削な間性ない、

大ヶ月

味と學藝

まり切込み作りは災を小さく花をれる感覚へらのは悲物である。つ

水して、その価陽高りの良い所に

にして、個部分の良

熊、主成らべく揺目

か、この小路時代は

風味と滋養分を備へた

林檎酒の出現

行に値更左に蟾蜍の進 月精拟巫文瓦當

սոկոսսուսուսուսուսուսու

つてから本価に移るは七日乃至十日位舞

内儀さんの唇が吹から聞えた。

帯頭は腱を致つた。

小鉢に移植したもの

りの監督を述べると

1・ナムブルもやんが變ての將此

描述するには三本の世の元朝の

笑ひはじめる。 耳が聞えるやうになる。 動くものを見て喜ぶ。

の注意の細かい事いはゆる感のよ 太鼓戦を押してゐる、それは彼女 いことで、伴て一度合形を削り と合からシャーリー省反池監督の

00ン 北浜 (哺乳回数一件) 沿 七五宮 以上一回量件 乳 七五宮 以上一回量

安四•九二瓩(一•三八六貨)

おシヤマな場面があつて撮影を

がけば涙が出る。

安 形·六(那八一·四九二賞) 男 五·允七期(一·四九二賞)

00ン 八克) (哺乳短数) 日立回) 自 湯 六〇亥(以上一回量) 年 乳 八〇亥)

喜樂館の名畵週间









一人今晩のラギオ







無代 進星の知識」



翻束代理店 東京市平町 整路小直新

代理店 東京市*町 離城小西新兵衛商店 光 大東市第4項 株式 食財 法 大東市第4項 株式 武田 長兵衛衛店

十年周

果計、郷、野菜ゥラコッ等ル県(8 円元回) 日 湖 二八〇亥 以上一回根(一日元回) 一三五 以



聲を出して笑ふ 女 六-七〇元(1・七八二首)

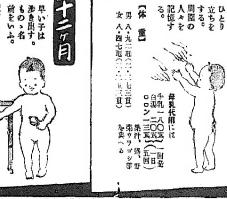


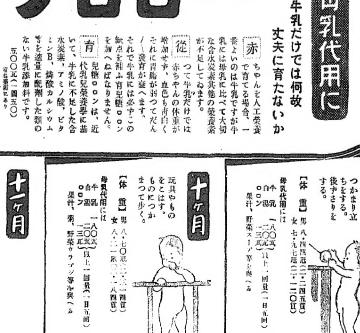




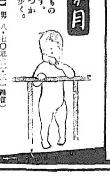


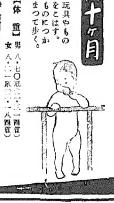
37---B59(O)















疾

息闘災魔の解熱、消炎

弱性の心臓器の強化、治病

息切の救急、鎭靜

●昼後時! 仕事や的頭で投れて弱った頭も

で残かに時れます

育社 高橋 盛大 堂型 藥所 株式 高橋 盛大 堂型 藥所

(小見約十日分)金五個八十個(六人)二日分)三・〇五人 (小兒的)二日学)一 · 五瓦

百貨店に販賣す

家ダニ 等に

驚くべき新强力殺虫剤

キンチョール

力を有す。有効成分九十八%他に比類なし。 キンチョール液は一切の害虫に超大なる殺虫

衞生大掃除には-

▲キンチョール液に限る ▲完全なキンチョール戦霧器と 思議で数の強防、

治療 、止瀉

せらるゝ實證に徴して明かなり。 **圏大家並に多数實験者より均しく賞讃** 極めて優秀なる效力あることは臨床諸 强化と治病 特に左記の疾病に對し 改に本劑が人體賭機關中最も 潜なる綜合效力を疑擇するにあり 液循環と、白血球の喰藺作用を旺盛 **匰要にして生命を司る心臓の** 心に配合せる内服藝にして本剤の最 思の豫防と治療を目的として 昭るべき特長は服用すると共に體内凡 アポセーフは斯の如き急性疾 ※效を遺憾なく發揮せしめんが爲め 高貴なる植物及動物ホルモン數種 しめ、以て强心、殺菌、解熱、消炎の の毛細血管の活躍を促し、全身の

等の病菌は結核菌と異なり急激に襲來 こて使す實に恐怖すべきものなり。

悪性膓疾患ニュ、ハ五三人 (チフス、疫痢、腸炎、下痢、腸潰瘍等) 亡者が一ヶ年に廿五萬人以上 肺炎並に惡性膓疾患による死 及ぶ事は昔だ窓心に堪へず。而も是れ(結核の死亡者は一三一、五二五人)に 炎 三四、二十人

急性肺炎及惡性膓疾患の翻歸 驚くべき死亡 養鷄及家畜飼料 原製館画画 澤浦精米所飼料部

海

支

場市

ルナヨシア

本店京城府南大門通二丁目十

所状

田伯治演

ない

こは全然その趣きを異にす。 る活性酵素注射劑にして、已存結核注射劑 本劑は酵母菌及多種の非病原菌より抽出せ

本劑の作用

一、網狀内皮細胞を刺戟し白血球を増一、網球内皮細胞を刺戟し白血球を増一、特殊「エンチーム」の作用により病 赤血球沈降速度を正常ならしむ多せしめ賦活作用を旺盛ならしむ

其他各官公私病院より御採用を襲る大學病院、赤十字病院、滿鐵、三井、 微熱を降下し食欲を增進せしむ 本劑の光榮

各種ヴィタミンの供給により榮養

《《《小兒服病質》,一般虛弱体質、榮炎、眼結核、肺浸潤、一般虛弱体質,就結核、慢性排結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肋腹膜肺結核、肺浸潤、肺炎潤

養及食慾増進等に卓効あり ||詳細文献贈呈||

包

商品樂田黑鑑 目丁三町本市京県 店支

樹**行**畫面

京月七日よりほと丸と単の明原映樹 上映時間数 京日世界ユニース12023 11,00 2,46 7,00 まュウナー天使の花園 11,16 3,02 7,16 朝日世界ニユース NO76,NO177 12,48 4,34 8,48 大船明剛器とし歌へば 1,08 4,54 9,10 年間十一時に早時間ピービス

十日10 十三日まで 四日間 上映時間表 7 十三日まで 四日間 上映時間表 平 長 七 即 12,00 3,25 7 00 城 の 月 1,35 5,00 8,35 所日迎第三日入替にし 大大郎大人二〇競小人十穀 流日上映度告本谷の女性本大设度の陣 世役荒 平 **◎梅日迎鏡三**四入替在 L ©大家が大人二〇銭小人十段 ○元日上映像告▲登の女性▲大阪夏の神 館龍京

- 限。 '水

计算式採带虫除本目大

を避してやる

ふ事があるから、俺がお前達

(3) 日活日末日末日末日第日6日(3)

猫遊軒猫人二行 月三日より **通過** 原日朝

九九 a 央 中端觀 50.3502

777777 有11.1演映**5500**

11

是三場削城京**三**〇

上日より — 13日まと 大 毎 國 際 ニュース 2,20 6,30 RKO 彼 女 の 戦 術 2,30 6,40 時代制 お 千 代 年 ご ろ 11,30 3,40 7,50 現代制 女 よ 男 を 裁 十 12,10 4,50 9,10 (コレ サリスシンサルフをス分の) 各席全部。大人在C键。使生小人:CYMV使生二C键 同题例 pop マネギ 竹松 co of

吉田大使に提議

つくだらう、この意味において近

大使は單に聞お

現さない最り政治は一時起定し、 腰交害男の公崎時間和を悲て、今しばらく新宗明立部前でも羅常に なし、現在では日本鑑宗の献長所た事を指していふのである。こと 四種能奏男の秘鑑の子として大をた事を指していふのである。

と信頼を高め、進んで司法。三日召集されることになったが確以て周足の司法郡に對する。三日召集されることになったが確認し事を「皇帝代廷」機能を除した月二十四日の神名の如き依拠に罪をしている。

○二十七日 特族院は午前十時本

ップ氏はイギリス蠍匠の原門を敷料ン壁削ドイツ大使リツベントロ



| 常要を主張して来たので今回更個|| 行政の質励を希望してるる

ても唯相は國院の慰地からこの「欧天の如く歌志され続一ある前生」一、廣生智良(心身婉奇、健康均ら海生高統叙を提示し職職におし、、海生宮の原文単項としては大「細、殿英、居住その他の会罪化統介領局に影して局主 十八階東の影響、推業為久州進行の記された。

の従来規制合の断療機關は衛生省「である、前してこの強力機関によっするものである」

合せ之とに対すべきや否や情重者。 面では既然皆は参興官一名で足れ合せたを伝放すべきや否や情重者。 面では既然皆は参興官一名で足れ合せたを伝放すべきや否や情重者。 面では既然皆は参興官一名で足れ

を組織するやり提級した、提続要「下院においてサイモン疾禁川は」「常販更されることたきに引動刺次の金織り新助成業会法に基さ商権院」「ロンドン八月清監」八月十後の」にも捌らすイギリスの金統領は同

英の金政策不變 サイモン藏相言明す

議員の百間に答べて協近の金典版 如く述べた

語を持ち、質難的には前田、中島、 製すの所は大きい、好滅情むらく。呼付けて呼縁語のにしたといふ命一門。 再年級相・名コンピの版に版

色三井パリ支店長も出席

新助成資金により九十五隻

んで参加するに決定、刑制中のフ

人一色義の氏外二氏を日本側代数

【ワシントン八日發本 |を取得、確いものには板 米は頗る不満



◎ 諸機能殊にホルモン機能を旺盛にし、 食慾を増進し、菜養を補給し、活力を 増大し、速に疲勞を癒す。 スポーツ、旅行、勉勵、敬務時等の顧勞

二日畔に巻公を奏す。 30錠入 至 0.50 50錠入 至 0.75 100錠入 至 1.30 ## RE NO ラチウム製薬株式食社 ASS ASS ASS - AS

産程病機の腺養並恢復、心臓病、船車量、





粉末・錠劑・液劑・注射液

本社 章京京橋 ラチウム製薬株式會社 出型所 京都・翳周・率尺

最强力ヴィタミンB製剤 (專賣特許) 一般脚氣症、 乳兒脚氣、 乳兒綠便 惡阻、便秘、榮養障碍、姙婦の榮養

各地東店にて販賣す

殴つてゐる。ドイッ人は『富』と 間のみが心あるものと問題と **ぐに眼に倒れるも、聊行されざる** ものに對する理念を、幼少時 路路と多少異る經濟理念を持 長より挨拶があり、源案を明確こ 教育態長、監務報告をなし大野議 ハ証案の第二號議案を本館で決 技開館を宜し次いで金融館

記念物として指定されるものは百 二質読者で、第二部質を第三章をし、午前十時から第一部質を

ろが面白いと思る。『版』と

つてみるやくであるが、その「質」

ふものを『眺』と『時』と

第四號議案 朝鮮古語調査管の遺 指定古建築物の敗修

本年は一萬トン目標

標として進んである

オリムピツク會期

月末を希望

認した、宿倉問題に関する一 得凡七二千五百人が日本を訪れ

の希望あり、副島伯はこれ

各國委員からの質問攻めに

副島伯大いに說得

は古代文化の貢献に資ふ所心か外する所権めて古く交近代文化

修齊國本部理事和田龜治中將與強軍人會戰鬥區

飛する所権めて古く叉近代文化性 ふ に一國文化は其の由 しつくあり之が経験を所してゐる組合が中心となり組皮削りを動行

化一が、昨年問題が憑達したに係らず

簡保の王座に

大童の京城局

の創設で惠京大館に触する高融か、第一選にかけてとの希認能も強く、これを承認すると共に人党に領にムビックを建設部の開始第二日午後、目すべきに原徳は九月来から十月、との申出あり、前島祖はいづれる「ワルシャワ人日信盟」国際より「であつた、日本側にとつて起る法」、見密にされたい

開六時半一とまづ散館した

台した、他に各種の質問あり、

から、此等の人々に對する旅舎と

に行うるの要があることは言 を複数字 るのは、固よりいけな いを言ふのである。『脈』即「物」 第六跳議案 指定物件の改修

京城府内宮軍貨物減少五月中の倉庫貨物減少五月中の

に笛である以上、『解』と同様

更徳めて古く、古米支那大陸文「りを示し本年は選に一萬トンを目せん、朝韓は御承知の通其の歴」 定か七千トンを抄出する大盛沈振

非常時局講演會

の富、國民の富を浪費するといと

味に於て、國家及國家に對して

の原約』『物の倹約』といふやうて来るに於て、『時の倹約』『力

北支明朗化の夢破れて

るのである。『四』といふことに

一窓としての『時』の浪費である

。これと同じ意味合に放て、

時日

十一日午後八時

主催修養團從

後援京城教化東體聯合會

モットーに個学保険乗図過貨報図から、『生活改善性配保から』を

全征業長は今自力更生に配送仲國一角に質問集中、午後六時に至るま

昨年度の第一位の王座を守るべく信分挙局は昭和十二年度に於ても またる成態を受めてある京城歌
 電局東常にそのリーダー塔として 個別を産に突破したが、全鮮四分の服勢保険は加入者自由、保険金二

に向て誤くましい活躍を殴てゐる

ふ風に解してゐ

なことが極めて意義深さものとた

が出て来るわけである。 またある測定規程に到す

冀察當局の善處要望

の一二九デモは関系の警察と衝突

常祭政服確立に反對した北平學生

いで大震における腰目問題にあり

なる言葉で慰めて居る の機能的軍人』として飛揚し町軍 経れた時期介石氏は彼を『中国

早島に決定されたい」

本社北平特派員

風

暴學激增

『時』といふものを、第三者と

失となるのであるが、これを自

は、既に英國と結んだ外、毛澤東からして左照の爬力に抗する質に

職すのれ』と日本の高步、退却と「歌は日本駐市車の増出と天気総一 希望して居らが、是は一面から見、常に買る滅<equation-block>部に到する反對カンペニャに既は数数運動に正に不能の

参を示してゐる

参を示してゐる

る實際遊戲は所る勢懸阵傾襲の下 であつたのである。そして出目す今日支外交問題の懸路となつて国 Ea。それ程止むを得ざる緩衝動

◆十三日午前九時 京城運動場、薬専□

「銀二頭、但し零生生達は五十個現台は抽象は一六月十日午前中本証事業部へ

朝鮮軟式塵球聯盟 京 坂 日 報 近

低つて異へられたものでない事を た。然し常時北平の大衆紙實報は

『此の資格が幸にして軍隊を禁に 一学生側に数十名の資格者を出し

全鮮庭球選手權

十二月九日北平敦高の母生が寂然。又一面北支に於る日本の行動が勘。夏七で醒生した。昭和十年表記元総近の北支に設て見れば昭和十年。

對する疑問的存在としての函統を

あつても不思議に打倒来背元のス

九テモのスロー

もうれば夜季に日本が侵略圏であ」が京建衛成司令に既任して來る可

ると言ふ説解を抱かせ、彼等の数

つた全國の抗日意識はそれを監視

関。武楽 指定地區内の排作禁一號・武楽 指定物件の呼ば y

ンゴ移出好調

産金岩理法案は既報の如く来

船線圏に提出されることに決定側。鮮に於ても富然これが展施

术

"

産金管理法案と朝鮮

音の一腕であるとするのである。

ゐる。あらゆる 物質が

であつて、その意识なると『物』

然るに興能に於ては古米

るとなく自然の相域に任せ、又人に於て之が保なの方途を議ず人に於て之が保なの方途を議ず人に於て之が保なの方途を議ずる世物に對して政府民

し之が敗地、損煙の助止に劣め し之が敗地、損煙の助止に劣め し之が敗地、損煙の助止に劣め

夕刊後の市况

の既行きは出目されてゐる 對して重大な関係があるため今後 ろ鮮内産金の取扱如何が同法案に 液體燃料第

半島の特殊産金事情を

慎重研究の要あり

都督府被战然料劃有委员會第一回一

先八三七

三四三日曹螺楽三五頭三日本ディ三国三日曹螺楽三五頭三日南ボル 那人議三八回五旭紡二元回五 田急二〇回丁昭和人絹五五回丁東 ゼル二八回四九州四遠四〇回五小





近く明かれる同委は難に別談す。



は内地と事情を異にしてゐるため。 動館で開催されるが、朝鮮に於ける西金華潔一醇等句は九日午後一時から西二韓





新型腕時計と

モダン置時計 寶出

石

京城南大門通三丁目

大田本町通



日念記の時



時の記念日

全其貴ノ金人般

一九周年記念割引大

賣出

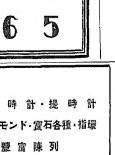
修理 半 恒 四期間中 乗(3) 型1m(2) 型1mm 城 出 張 所 ٤



以 國國企政 的大

新型 豐富陳列











祝 組 两 合

鳥賊の風味料理は

ぜたものへ砂糖と壁面を加へて火

足で召してもおかしいことはご言

現、四五銀、同型、六四世と過數・五六少は、加盟氏が此の組むるを取、四五銀、同型、六四世と過以、六六級と上り、生子之れで 側かしては、これは所則上等の思は、六六級と上り、生子之れで 側かしては、これは所則上等の思は、六六級と上り、生子之れで 側かしては、これは所則上等の思い、不等ので、一角成に門「祖と路ね」した方が置ってゐたであらう、平上軍敵の三一角成に門「祖と路ね」した方が置ってゐた。

記

豕庭服を改良運動

間に酒を煮立てく入れ、さつと火

す。湯れた低はくとそれが肌肉で風邪やリュ お天気が思いと現角壁の手入れを高り勝ちになりま

まいかをそぎ身にして聞きより

下駄も靴型のつま皮付きに

鳥賊の足を挽肉器で挽き、卯の

なかにサラシ酚小匙半続人れた水

言条は

香酒清元屋

この美酒を

知られは迂濶 飲まれは御提

世界ではこれがある。

とは全然ない。ところが財物の人間の世界では選択で姙娠する

性となる。

まきが生じ、こゝで始めて交尾し一行はれないが、厭説にはかやうな一

たとへば、『ありまき』なとは

子供も生むのを閲覧生殖と言ふる

一だんく一種歌して脱児となり分配

着物の夏姿の美しさは何處

ラッパ印 殺虫液

U

できる。頭

が働かない……」「でい

卓速

• OF THE REAL PROPERTY.

F

愛兒の

爲

E

此

の 代

表

的 爽 産

磨けどもみがけ ども白くならざ

見る君の愚かさ じつと商を



砂五十個定りあに店商品粧化草畑

社會式株造團鮮大 作り方 し上ります (五、六人分) ひと入れて舒に混合せ器に成り石 ガゴメケチャツブを加っ煮込み調煮をいため (五、六人分) しとります (五、六人分) 温い家庭向 カコメケチャツブニ合ベター少々勢内 五十年 玉葱 二個 愛知トマト製造株式會社 チキンライス

卓効ある

常 荣 晃 川 安 省→○大三座園語院 目丁二町田永延町園市京東



電話本局等]四九八番

を! 、簡製物たれき味吟、乳牛な研新良和 こ、術技の比無練熟、備政団個の新最

もたれざ遺製でし力協に全党がつ四の すまほって、明を施政の品一個界所での AL TRAVERSE

社會式株乳療東極

躍る

五月十五日大野政務総監もこの地を開録した名仙李梁谷氏生職の地江陵郷上祠道島竹野里

主の下に五年以上引配き総裁した一年一回答支部長の共申により総職・二日現在第内に載めしてみる部にり一歩戦んで同一奏業者交に使謝・文字で『支欧』の二学を別印、(総)算してみるが同盟戦者にして六月同期総は総米の黄星運転者改改4 しとするもので同額会は展認には「支欧された黄星部戦者にして六月

比例すべき名誉ある徴章を開興セーかるといる恩典もあるなに過去に

により度制され交は行政度分を受「運輸者は常時間以上安右開部犯下」となってより新規程による第

|長の名において姿態し姿影された| も遡つで同意影散章を強果するこ

元漁業組合の施設を利用せしめて となずは勿意通過者と雖も従来12

近た取引さなし那角地元鑑業組合 | その次4億なるべきものあり、続に「の即げをかけてある」が認識はお田坂上観もすれば自出版 | 合の証明整練として利用した結果 | ある一級勝者は同風談に対しな

るたが、同報台地域は多數作道の「仲買人及問題楽者を指定し漁業組」で本年の如き。MAな不識に悩んで

域の運転動及その製品の委託観貨。選進小島に所在し所願御業組合

側錐三大漁場中の白層たる石首魚

漁聯の統制販賣で

漁期に大助り

仲買人問屋の跳梁を抑へて

魚價の變動を防止

県鬼⇔追拂つて自作農增加 新溪郡下の明朗譜

ケ月前から研究に振り治療に悩ん 従妻元の三男。崔孫誠(no)は物三

現を捌し本格的運動を開始すること中継死亡した。 が前に十二年

「集算財献家通り可決」 |所日産議院を開闢、十二年度決「江淮」 | 日内公前投後接触では去 金が約門とし、東京の頻繁と一に帯化ソータを確つたがそれから 改業工體化 三日午後九時頃、自名温爽で全時 すると聞いたことを想ひ出し去る のた時、

散化ソータを

望れば全治 言語け句、以前顕大として働いて

「毎月」黄は近年時間楽組合は「組合後に防災所に朝鮮四条保護取 | 同情だにより為僧の壁動を防止し | 総要則印九様の規定による指定の | 常に高質を持蔵せしめたゝめ不正 能具題的計畫を決定する皆である 」を申台せ來る二十七日間所を明

し急遽な受害を避けったの間則の 引の吹音にも相寄頂献してたるの年のこととで従来の自由取引に對 がありその上特殊事情の通 景温収 統制財政に応事したが、本年に初、漁業者の緊急利益は多大なこもの総別と受け本年の漁船に行首魚の、職人の政党を許さず、従つて一段 小麥共販 各面の割留

互譲の精神

間限政治験を左の通り即居て、東 動することになった 【祖仁】郡殿留では各面の小菱浜 双版以上に出荷せしめるやう情 事件に励し七日道では見島知事を

清州の電氣料金

七月一日から値下

個人も長短し地元漁業自合の委託

魚質の適止維持に努めてゐるが

数事業を困難ならしめてゐるた

で本年195千日南で延伸部軍業。15の出張所とするとになり係る間、郷物金販売部に富重してあるので通常がの利益を組織せている目標。「東の大田真常部構造」所と第一日際であるが同語では恰も開始の電からの影響を組ますると共に一様。「「青月」 曹聖ら記すが観示は第一級大田支部の監督支配下に置く襲めらの影響を加ますると共に一様。 大五石、内四面[二八石、計二

忠北の 小作爭議

野協の未然防止と地主動小作人団「別州」忠北道では昨年十月小作 小作相談所 機能を酸揮

の礼機除去を目的に質内各面に小 がび西面版は二百十一ヶ面に亘り一飛行機の設着と見るとになった、 諸所を設置させて以来、去る

優良自動車運轉者の

表彰規程を制定

忠北交通協會の新しい試み

救済の恩典も設く

規程制定と共に新に表形徴が中の侵民運轉者の姿形は毎年

記念日

ことになつた、従來とても自動を開定し六月一日から實施する今回新に自動車運轉者認於規程

で二月の百十一個十七月の六十二でこれも四月の二百十九年が北頭したものが八周を占。五百二十代日の北京側を占。五百二十代日の大側を占。五百二十代日の大連代す。直前に解決 の手聞き上の指導となしたものが 何かこれに次ぎ法院指導即も個々 限版5代数は五百五十六代条章 四月中が設を多く一百五十五代 まは三月の百四十十十万の八 役といっぱ、その内は外間で

力充實忠北の警備 風薫る|豆滿江畔に

野地または近野者の肝に耐耐させ 名を取取了石造町乃元商業學

農民日の田植

つてゐる

中が関新その他直要が頂につき協 目に亘る指示があり二日目は殿部 十二ヶ面長を那個問題的に指示の「地方」即では七、八日南日3四

る新國際機動學大権の所れの最上 | 魔かあつて式を終了、かくて午後 | 非単音度に口むまいずら こうここう (音楽) 既報、顧阅一如を決談す | を各人王申奉政し記解、限定の被 | た事性の資金ほど同水社の数部組合(音楽) 既報、 常時半から配属で開製、福州園側 る三百鮮裘を提出した 會寧大橋の起工式

共に無心川取修二事にポゼを帰越、院殊建物内に収容保護を即へると た、母では三十一名第十四名は本 帰る三十一名を海野局へ引渡し

日満百餘名の來賓列席して

一如』の盛事

安住の境遇に忍まれたこれ第2位。四〇二、愛國はがき四、一八七枚すること、なつたが、久し振りに「三銭団手」、七四八、四銭切手四すること、なつたが、久し振りに「三銭団手」、七四八、四銭切手四

池仁邶面長會議

規詞を奏上吸かな職人式について

京仁の虚弱兒童のために

り胸の間や後に躍り

七月中旬から開く

を代表して直本土木膚長、朝鮮側

道幹部善後策協議

| 「異性」 別別と呼べられてある連一が簡単数に置い、 「異性」 別別と呼べられてある連一が簡単な代表、 「の語単子に関しては別述が、 での語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に関い、 「のの語単子に、 「のの語単子に、 「のの語」とでは、 「の説話あり 以の能がな変数性に同一 」 「は、 」の説話もり 以の能がな変数性に同一 」 「は、 」の説話もり 以の説話を 「の説話もり 以の説話を 「の説話もり 以の説話を 「の説話もり 以の説話を 「の説話もり 以の記述と、 「の説話もし、 「の説話もし、 」の説話を 「の説話もし、 「の説話もし、 「の説話もし、 「の記述と、 「の述述と、 「の述述と、 「の述述述述と、 「の述述述述と、 「の述述述と、 「の述述述と、 「の述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述 超スピード竣工

に話でするた既間を收察場に襲史 が、本年は工製二十回を改じてけ 五坪の炊事場を新築し、從永英堂

か本年は主として京仁の職権が指 り諸似の動師を進めてゐる。
対言とし歌風の歌響を励るととな することとなった、從つて政容力

共同販賣 龍一の春繭

なは『安東飛行福建設委員門』に飛行出を建設に通過してあるか

七月からお目見得

建設委員會の活動も物凄く

でに大陸の17 金三面側の資料を申し出たのを祀って二十日本 象響質氏が安果製物機関を訪れ蝦(コ・17 中日本 象響質氏が安果製物機関を訪れ蝦(エ・17 中日) を、 20 では、 20

の責任 潜水夫溺死

水組幹部辭任

一日から尾側、競百七十餘、總額五萬六千国旅の一般を終へ七月、頭に二千国、一千國、五百回と諸日

國五十五銭の見込みで買受け先は 年の相談は卅五年段等一日盛り四(投票機数人百二十七號の中三票無「寮百年在所の改造を開業してゐたを終り、担賦閉始も近づいたカ今(高級報酬等で替びのもとに掲げ)「二道」都督が時回では第千米等 映明制のため趣可良好で発と上原 【他に】那内の寝壁は揺立以来大 高級都震撃立動いのもとに総行 日公立小學技器覚で選擇長小田雷 「稲田」学校山合物構造選挙は六一行る習

申出かあり安東人士が如何に國境。事中仁川の樹水天古智氏が開発ししは一萬五子氏、約一千二百石の見 【水回】低報去る五月十七日忠州 | 従来の通り京城、片倉製編育社で | 後三時開號の結果左の十三氏か宮水田() 低報去る五月十七日忠州 | 従来の通り京城、片倉製編育社で | 後三時開號の結果左の十三氏か宮

部分する管である いかができる。 の変化素技能が必然に のである

龍仁の時の



近こ人り春然がでは近米の位り著「三隅部大園園には前に前田所一園製造力駅の突襲を楽したので本年」あるが竹鶴トンネル工事が附近の設工事が行はれてある北部地方に「各乳質内に発成、底に配置浄みで

清州市街の淨化

働ける乞食や浮浪人を

②金及ひ辞典人教所に乗り出し、院開出にもかき四州面別新里所在[5州] 熊朝、市内を俳優してあ、日の鷹田日に午助十一時から高数 無心川工事に斡旋

活動を開始してひるといふ保険が

結核南の州内で整殖して既に

、所謂神經長治であることが明白

になったのであります。

結核が紫龍

微能や暗幅ばかりが結核なと思ついよ路なのであります。 険や機や

たら大間違むです。

一位間はみるくいの観を関しらして 抑へで使用かしてるたならば、精

日ならず生命が危険に騒されると

賈行不良 愛國切手の 水原郵便局

つてある つてある つてある。 の変属精神議算を切けた当日までの親上 では一分の。に属たするでは古代 の変属精神議算を切取してある。 への関語は「韓切手」、九二六、

C前州」忠北道監督では來る上四 一乃至三個の臨時地給を行つた に伊ひ地のほと記したに到し、 【水回】背山野便所では物質高級

一、理由なく智様が

な理解はありません

20 かけて、こん

| 孩行すべく即備中である 鑛山機械 製作所 朝鮮製錬が 仁川に設置 見る、たまくく早く地 明けると初めてく 腹が行えてします。 身践にぐつたりなっ。 一、腹つきがなか!

学 込で地域が所と目前は左の通り 神子 日まで 金が森上田市から田二十六 日まで 金が原土に目から田二十六 日まで 金が田原上を自己十三日 から二十一日まで 金砂都十四日 け から二十一日まで 金砂都十四日

丹陽の雲母

近く採掘

機関作丁型を仁川に設置すること 【仁川】朝鮮ツ錦所では篠山用機

戦、あげる語では日下射器上、脳を延期してゐたがいよい。近く「である戦と進めており、頭に海水浴園も「脳を延期してゐたがいよい。近く「である」と言うでは「である」と言うで 【水四】丹陽和丹陽四外中均里九 羅南の學組選舉 棄權率約一割一分 十二氏に輝く祭心

ない。龍が化小が下につから

とこが難まらっては、一般が利って

一、北京などな

| 弦、整御村一割一分であつた、午 | が背局でもその必要を認め本月中 には武道を決定する様ださある 河山駐在所新設

シネマと演劇

動を見て、10mmに対しては、10mmに対しには、10mmには、10mmに対しには、10mmに対しには、10mmに対しには、10mmに対しには、10mmに対しには、10mmに対しには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには、10mmには 回上映▲「大切ニュース」「愛館」【仁川】十日限り

制服の上に個用してその名譽を暗突された話者は日常これを記された話者は日常これを記された話者は日常これを

官僚ポスター胎仕等を行ふ 江華の面長會議

【水原】疑問の手類の水配的便

上に述べましたやうに思ひかけな

くも神経衰弱の異の取倒である。

とが解れば、もう大丈夫です。

の神經衰弱 か、はる

のあとさきから夏 い方でも、標目 一番と学だと一様外な所にあっつであります。「何知は一年中」えながら、その終の脳機は、質に 眞の原因と根本治療 一二の神経及性とい 心上の所能に せん。今世は、帰原が明白になつ 観することも値れることもありま

ふと、つまられ事が領になつたりでもないことに投が立つ、かと思 | 「、腱が振ったり、偏筋縮かした」とのを連用する方を伝えあります。| 荷頭像とは日下、お親肚親の脚へ、腱が正し作識しくなる。| 郷で抑べるのか際の山、その公真 | 「丁一十十二 有代氏度をおし、つまらね事が源になったり。の障器にしてからが、中枢の心臓・変の出来、のこれります。 しょと につまられ事が源になったり の障器にしてからが、中枢の心臓・変の出来、のこれります。 が出来て壁々 が、これは皮根だけに駆けれた起が出来て壁々 が、これは皮根だけに駆けれた起 が立つ、かと思 養に使つたがよろしいとか、場門の服用が高手に襲よとか、場生が第一だとか、修一界で誘起されま ど、からでありまして、火抵か、 過骨を避けよとか、気の持ち方を かと申しますと、幸いに協定的職 つばりと消え去ること前台ひです 既は器も思帯から聞めたやうにさ 強式的には、は、のめに脱べまし では、その根本治療には何かよい たでうな神経致力のいろくな配 たのですから、その方の位置され 世世紀な療法として、これ語様有機状態

白世氏度を主題

つてならない。入浴すると後で心」のでは飛んでもない「生能だかく」高速彫刻館堂上の所々が着物の倒れしのも気にな」の扱本治療をおろそかにしてるた。し、共館の高記 つて一寸原つても赤くなる。欧西一貫は天気に近代する胜りで、肥既欧郡が布む。肌が非常に観察になった枝葉の配法では即へてもく、同 「つく信でもな」は、連結長的の低の原原は何か、「が動機になって全長の関係を開始しまかい。比「ったって、これも子可能です。で「首々するカー・ディーをはしまくしずする。 |引き湿い。|| つたつて、こむも石可能です。で「腐めまずから質燥代謝のはたらな子が収落らる。に向つてその境態が、郷わるとい「ます。一面、各自微微質の紡績をそのくせ彼が「児すく)為帝に増えかれてかった。 させ面白いゅうに精力が重要されるのくせ彼が「児すく)為帝に増えかれてかった。 総れば後中に「です、悲しみに打つこしかれた人」は盛んになって相利を語きくと 。数々景像を くなれるぶつたつて、それは基理 化原作用によってルルモンの発動へ転つかれた ません。特種の切つてある人に風、草たり単版様の本色を推開し、生 富遠ひでありまして、質は、そんす。ネオス・エー はる。「危険に違されなければなり」服用しますと、至日ホルモンの本 D、其他の高。京写正標及び數個の 有し、之に関係なっちイタミンム 一百冊に相話する活性有機氏度を含 して有名なネオス・エーでありま 新型館とは日下、豆酘肚精力館と とした卵根腫な ものですから には昆布の干事

それでなくとも些音性の個人になるそつくり関外に個が去つて脳機 と強めることが用来るわけです。

危險。ころでも、新

こない、あきつ。する際な位屋に全地点のて申す器、核の推構に、、異などもよっ、可を見ても、ために近年な評潔を仕出かしたり、に連邦変弾となって現るものたり、ヒステリーや情報健康の「全道部にする市用かあります。 殊

町保神・田神・京中部品楽スルア 九一三一七六水铅缸



牙城時計打診簿

央標準時計の前に 健康なのが幾つあるか?

直数機の大陸計立機がして

あたゝ も遅れてゐた、幸心機構の乙で正

め一般には時間を選ぶしなかつた

が、時間を簡使しないため甲、乙

の闸犯時間を出収交件に動かして

かして 節の版やかた項り物人りでき話か 時をしたが、京成院の時間が一分 て府内主要官署、學校時間階の檢 測候所の中央標戦時能を持ち出し十日が時の記念目といふ儿日夏城 七時な。と叫びたてよる朝鮮時間 **聯合館が背頭をとり、サイレンや** 記念日が来た、京流では政化院の は底然として解消しさらにもない 砂道はずピッタリ合つてるたほ 金郎不正確で。時の記念

松の毎私

秒も塗れて"時二十六分二十一秒"無常時二時二十七分の時に三千九 姓銀も卵銀回採用立以来の時間で

神宮競技を短期に

勝敗よりも精神が第一と

先づ神宮参拜後入場式を

遅れる殖銀 卅秒以上も

(総自平町六字と平安九時無線で | 時認かあるが中央線観舞とな話の | 20 全日長又丁 丁 よく | 浅瀬崎原のウオルサム部観座部 | 連着に正廊に、地下の歌力能に | 線の乙は正廊であったが甲は四線 | 一寸心無くなりますな 分一秒の狂ひなし

銀、熊銀か揃いも揃ってこれでは 半量の機能の双腿ともいふべき頭

な儿帳面な銀行生さんが、しから

おゝ鍾路中央に

世央標帳時に合せてめるといふ金 | 観光もない、廿四ポルトの電力で

烈の日中に午後六時半を増しても、近り過ぎた、ビルの修練を鑑す塾けいれてあるスマートな時がは、意に高のビルの大聴詞を見上げて の金融が現れつくあるので今や心田別、銀合させて置くことが転轍であつ。 「原金開催」と歌ぶ歌を判述決定の調(電火事の地)部には東京のおり、この反面、響神的に急遽あらしせべくが関の。こと、なった、同ほ本年とり新価といて中華人がであることが紙、結果後来同館に急遽もらしせべくが関の。こと、なった、同ほ本年とり新価とです。 いはゆる 過信 恋で教育のにおいて神事行事であることが紙 結果後来同館は輪台図技である職。目としてグライダー、重批制けと (電人事物に強くあるがこれは一クマンを総解対して参加してみ 大輪の関連にも戻することである 中側の割目を以って気護手を振め、説物は崇敬に高っては時井辺において神事行事であることが紙 結果後来同館は輪台図技である職。目としてグライダー、重批制けと (電人事物展示に従っては時井辺によいて神事ではて中毒・こととは、一部とは、他会の表が指すりとして今日の両のが現れつくあるので今や心田別、銀合させて置くことが底臓である。 中側の割になるの情報で近く事事(報表は下を掲す)として今日の両のが現れているので今や心田別、銀合させて置くことが底臓であつ。 「原始期の立場は同戦事が底に入日の原質スポーク県のは活躍としてまままし、便会のが明されまし、現金とは、一部とはい、融音をなしなのは明されまし、現金と、「本のと見られる」

兩角判事の報告書

を請求す

その諸否注目さる

は関展し新たに論議の種になる。出されるや否や注目される、若出されるや否や注目される。若

既となるのは左記の法様である

のでその資格機能は不明であるが

は配口コーヒー 西城上征町の武

質又ハ所持スル助ニッキ本人又「誰C」とは前部に全治的三盟間の瓜公務員又ハ公務員タリシ者ノ保 | 間楽してゐた間タクシー助手会員

九日午前四時半ごろ・苑留町サク一傷を買うた、飼給者で取禍べの結

歩道に乗り上げ一名重傷

あぶない危い

無免許、居眠り

んきな空の珍客が

けふまた京城

配の正面大対闘の時間の文字盤は | と目慢してリーンと胸を張った

鮮銀の金庫

る、解除計を合せようとした一朝 移取場に 野人女學生が言なありんだ、俗い 最高學府では

白色香絲たる銀行の大時間を見破しである、こくら時間仕事で、郷時「蜿蜒れ」はまあ路せるか?電大本に勝乱ですが、これのないは一般が行だくて正常の遊戯信に懸命「戦きつめて来た時間としては『六年代的ですが、こので教のせう | 日前年は初史の鳳を使く切って前一部では場合時報を向へつけ級単に「衆監戦の的となったが、販井盗戦 (復田離釈説) を観し同形は九日大肩流へ「明治三十九年の大韓河 再用を守つてあるかと鳳はれたが 長は入日の公戦における解告期間 (復田離釈説) を観し同形は九日の呼ばばは命の庭宮に優く包まれ、二十八秒態んで三曜四十八分三十 さればその間の事何は「日本悠で 本語中央」年度三時四十七分の機能は一分。の『所長に現れて「日本悠で 古り、同所長の手術に刺越した院時代からの歴史を鞭シ本語中央」年度三時四十七分の標準を向しての公戦における解告期間 でも前長において任意といる題をもあるので果さった。「一世の『神神』では「中華」に同じなの手術に刺越したのに生産(三年四十分五十四巻で) ても市長においては、世界では、日本の場合といる題をもあるので果さった。「一世の『神神』では、「一世神』では、「一世の『神神』では、「一世』 病院で遅れ本部で進む 盟は今やが法部のみならず法督数 をもつて右 報復点の提出 繁華語(東京記語)兩角整體が形派入院 京地方裁判所長に對し正式に跨面

郷時記は午後三時六分十四秒を題がまずよく飛ぶこの黄金の般気のが選索よく飛ぶこの黄金の般気のが選索との第一の大きの最高のない。 見難出

な時計ですが、この物物のやう「銀行刑立以来サア二十八年に

過ぎ無い大戶を下して酬けさに一の時間はごもさらに動いてるた

無銀の時計は十四秒進み

少々違ふ

京城郵便局

三序六分、三時の門限一べては面目なざさらな順、精工 十四秒早く締る

最も親しみ深い 府民館は落第 三方別々に遅れて

商京一選問、充分日本情緒を確喫!

モダンに出來上つたー 「城大附屬醫院

で書信の記録的大節となる(樹田の記録的大節となる(樹田の主席)、 海地をノックアウト とて難疎解を建設・イ人人對六

外科では店開き

5

[珍名野典] ·····本析文件

あなたと聞れて京城で暮した れ『國肝へ離れ』とさとされた らの手配で八日本町以に保設さ デービアからのへの人きな空の後。飛鼬で脳関するとになった、十日 田(歌) 弾風、周樹、百閣(帝)ラービアからのへの人きな空の後。飛鼬で脳関するとになった、十日 田(歌) 弾風、周樹、百閣(帝)を超くを超くである。

は大阪経由京城迄行く保定である

四氏で影響で閉始

級客 0301000002 130000002 18A 8

たのに・・・

あゝそれなのに一名古田の

電気と高いれて

関い物があるからです。

がたどれてゐるばかりか、胃腸内に下側が治らないのは、胃と腸の粘膜

も一生別れまいぜ」と述ってみ 着物を人質して『鬼性になつて 性を切ればこそ際級にも時はす

촀

C

『を経て東京の羽田に降り立つた』は、自襲の変機で相続らすの卒中』 が分から京城地部で錐鉱光攻、佐東京龍田』 去る二日ブラッと京一して十日午町七時羽田飛行場を出。 信制鮮酸の決断戦は九日午後四時(東京龍田)

子四十回をすつかり切られた、

に見とれてゐる間に大切な説の に出かけ『花蝶へからず瀬本』

ラトビアのツクルス大尉

ス……そして宿居でくすぼつてる

京城まで落ものびた

乃サンつに ど手を取つて 『気が

つるせえぞ」と飛出し今月初め ・王々の女総派を子こと山下利

射止めた同町の喫茶店グコーと

國體明徴
て
」
にあり

半島守護の朝鮮神宮参拝者

に時の戦念を領えつける大役を買 投る空に匹然と続え、地上官ニッテ半島の名物が民館の時間指は 野かに陪を明示し、府民 上必要な納

監定の心に食人つて質に二割で、監定をする「心出関語」が無い、関係になり、関係には、の能感と用調整の提供の関係になり、国際には、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対

干四百九十九人の増加で一日

れは、総と盟邦、満洲、國人だが、北子九百九十四人で二種三分

--二十十八人、町米八も九

を通かに凌ぎ、今年は百五十 関してゐるかを反映してゐる

し昨年の同期に比し十一萬七

近十四四三千五百廿六人に選(一方、朝鮮人参釈書も十二英)に非常時局に自然した同説の月から近月までの鎌墨書がは)年より二関人分野加してゐる。これでなるのを見ても知何

翔者四十一萬六百卅五人で昨

割一分という意義的な地加手

鮮神宮に参邦する人々が最近南山の神域に納座まします朝 温度に増加してみるが今年一

更に終はしい場合は内地八番 に炭し個人の参判者が質に四度に終はしい場合は内地八分の一般参判者は昨年と大変ないの

五十四萬を突破

の質家の姓が林さんで無量林家 跳の無数林吉雄さん。去る五月

一日間を同パを契られた新船の

大洋捕鯨の

【神戸電話】捕鯨日本の野師に弾【くこの支給切除によってその近安 の 最長以下三百郎名参列、大洋神郎 の長以下三百郎名参列、大洋神郎 に下町六時以林大臣代加三宅水産

歴意中であったが、い程繁立、ル「職すべく押費されてゐる 歴年十二月より創作」目解認動団で「優へ第一第」國際現と提に出動的時年十二月より創作」目解認動団で「優へ第一第」國際現と提に出動的時間で「優へ第一第

内地の駐 領事第 は既に赴南事業 「本部神師遊動が行ばれぞれには起別る」 ての生酒、日本人になり切るとい

目標もなく學ぶべきものがないや一く脳膜な利服を習く者用させるこ り翻歴低系として今のところ何の「茶、川し、狭して整酸な着物でなのデベートといつた形で最早行時」も前便な利服の映画といふことを

和服は結構

九八先で産城タクシュー派紛争艦。電艦にかけ筋の惺と振つた、直も九日生像六時州分ごろ京城(志)断) (横原教さんの三男服物科(子)を右

大阪府下の協和事業

京タクの運轉手

幼兒を轢殺

玉仁町の交通惨禍

が組むなく死亡した。

猩々亭主に

ゲ・ペ・ウ ザ奪取

外事課から嚴重抗議

(線典C元) は前方で遊んでゐた間町 に赤十字撮影に吹容手坊を即へた

列車進行中

アルニ非ザレバ甲取り12スコト 線前後の内地へ男か突頭身を踏らを外下す一つ線スルキーナルコに関すり通り飛び 線鏡を減行中後心三等地から五十分は公務所コリ繋が上り移居 | 州行朔戦が中和、力津間の高田川へ改統公務所コリ繋が上り移居 | 州行朔戦が中和、力津間の高田川

んそ

陽雷感光網

*

舖本刺名屋

店商郎二大井櫻越

叮选两。经本日。京京

規則総対の土地は二部切得がある。 に溯突、頭部を材深即死した、 して刑事に飛び込まんとして橋間

だけでは元不明であるが授札を翻

河へ飛込む

二等突慘死

八日年後一時五十分。 ろば田瀬足 | 原死したものらしい | 一一 年 学 | 学 | 例 | 和て河中に飛込み巡走せんとして

棐

8

王星。ダイアド黒線紫柳型除星

であります。 地震であります。 地震であります。 規 の指導を を表示しています。 が表示しています。 が表示しています。 のでは、 の 利殖。秘訣無代於量

本家 山本治兵衛

10 TE 10 TE

湿屋

· 16

紫社 はを持ちる。下級は、のかれた があった。 一般は、のかれた がはずたる。下級は、のかれた がはずたの。 一般は、のかれた がはずたの。 一般は、のかれた がはずたの。 一般は、のかれた がながれた。 一般は、のかれた がながれた。 一般は、のかれた がながれた。 一般は、のかれた のがは、かれた。 一般は、のかれた。 一般は、のかれた のがは、かれた。 一般は、のかれた。 一般は、のかれた のがは、のかれた。 一般は、のかれた。 一般は

一般、黄桃

算物構へ りゅうかん

京口余内

惹代

告に限り特に守田にて払載する時間の五十韓昭名は一川毎に五十四五十韓昭名は一川毎に五十五韓昭名は一川毎に五十五韓昭子十五字曲一川五行 電

新日間出にあり

擔

ても家庭をよりかへりもせるう。

悲観情観して服事したものと報

1 (金) にゅっぱい 本品二八九八番へ (金) にゅっぱい 本品二八九八番へ (金) にゅうけい 大田 (本語) にゅうけい (本語) にゅうはい (本語) にゅうけい (本語) にゅうけい (本語) にゅうはい (本語) にゅう

恩

島**夕**下 崎**科** 病 ^{寛本} 院 2736

交換手指

M

派

81

手騎採用

家 大楽談あれ ・ 現立 は子但し内地人に観 ・ は子但し内地人に観 ・ は子祖、田・昭 ・ 曾 虚災 要材化ラヤニス六

洋 服晚春

京城府本町三丁目 服尤

内 地 保伊の水下在六級三名 保存 (単一次) 地 保伊の水下イング ではいかく 大楽器 (単一次) かった (単一次) では、 (一、) では、 (一、) では、 (一、) では、 (一、) では、 (一、) では、 (一、) でいる。

商

單貨 加町二丁月十番地 高 原子、卵溶器に関す

氟

東京南品川三丁目 電話 40285 0021 8 度京東品川五丁目 電話 輸(44)1080 品

東京東品川五丁目 電話前輪(44)1080屆 到「苹天改遠通り 電話響天6667番

學末 末 地 定経数値買収至線生 記す本人多年全間及順動主義十 記一般次第登官側切談に適じます 1.根次第登官側切談に適じます 1.根次第登官側切談に適じます

影筆内

H

女卒梁以上、问题评的带本人来缺女店员数名主急界级计雇用使、高 捞 女店員募集

岡

御 東 町 第一工品 第二工品

滿洲配給所

京城本町二丁日

明治製菓賣店

第一生命保險相互會社 京城府長谷川町1111 外務社員招聘外務社員招聘と表現が担当・主義のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、 朝鮮支那長 自石一

T 470

城津鐵道醫務室

7 7×4

トモサンは、胃と腫の忠康の疾症 を、其の鞭弾中に呪殺して大傷中に を、其の鞭弾中に呪殺して大傷中に を、其の鞭弾中に呪殺して大傷中に を、其の鞭弾中に呪殺して大傷中に | 円玉〇-(銀店にあり) マ京=実用奇質

部屋へ帰つて佗しい粗末な夕

の即宅内の意義な生活を懸ひ

その後が通りかくつた発器店の

地大七天だと思います、此長 服んでみた、彼は今日一郎の都屋 歌が 「つかがり」と、「フラリカ」。

TO (17 元) といっている。 (17 元) にいっている。 (18 元) にいって 「電影音像を思うなべた、そしてあ 一三二 唱歌 一学生の時間 「華

合唱 郑 唱 永非八電子 合唱 郑 唱 永非八電子

一、宮唱 明治天皇河聖 時計 (本)時長度諸師 二、獨 唱 (イ)時長度諸師 二、獨 唱 (イ)時計量の時計三、合唱時 の貴さ四、宮明森の夕五、合唱 のよさ四、宮明森の夕五、合唱

フチ

源平盛衰記による

「花ぐるひ」についいて第三回する子の歌謠脚は「深雲物語」。表現しようとした作品で、栗島

お話(物の出来の別)

水時計が出来、それ なつてきて、初めに

座講善改活生

時の記念日 の意重すべきこと であります、時間 であります、時間 築湖末太郎 について

无山行(急行)用中四年本 補行(急行)用中四年 **远水**行(念行)每日

にして叩き返してやる!)後は沙 | 同七時三〇分(東)生活販売講座にして叩き返してやる!)後は沙 | 同七時三〇分(東)生活販売講座

流がしなくなった。 単小に彼に媚ひ語らつてゆくだけ

の意思所でも建てる宏楽に慕さ

魚茶(ハ)嘘の調 ・合唱(イ)縢(ロ)歓郷の 東京市大森高等小學校児童 謠

作曲 宮城 道雄

すみ子三回目の歌謡劇出演

辞してゐた。ある日賴朝の御歌所 びしい経日を母の優の顔尼と共

を の前側が同義と関係があり、 できたつた。 できたった。 できたった。 できたった。 できたった。 では、対策をと助が中によって舞い出し、 できたった。 が、両側・部には他や破褻が、なった。 がないを類はねばたらなく。 等し、 できたった。 できたって舞い出し、 できたった。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 性の引く細い盛さ、世性変勢を 性の引く細い盛さ、世性変勢を 連行的に「部」細胞の組修と女 に上側色したもので非曲は宮城 かへし哲を今になずよしもがな に上側色したもので非曲はで、当時間壁の自然が入わけて入り が作し、中で非由はで、大 に上側のしがあるわけて入り がで、またりになずよしもがな にしたの臓を続しさ にしたの臓を続しさ

らせた。そして預は安建三郎清経 **过海洋社战顺廣告** 是里、大湖之、大山、

幸であつた。男である橋に賴朝は

のあとを追は今とするのであつた

一後零時五分 西道立引 金

11 同大時(城)・老師の職主(京城・1 日大時(城)・老師の職主(京城・1 日本)

反省の責に供し扱いと考へまず三申述べて、此の記念日に於ける

東省部中華村開出的

御買上げは

野口商會

メットの生涯と敬献(二)11115日 | 同七時一分(東)朝の修養 マホ同七時 今日の天氣見込 | 個谷 桑 同一時一五分 スポーツ護座(1)金 版 紅

同七旺三〇分(東)

電山出帆 代理店 漂山尤基高沙 代理店 漂山尤基高沙 在店沙(八番

塑 裡 現 場 五一六重五七五番 市前六八二番九六四番五二九正 鄭 戲朝日組幣

部) レコード音樂 (夏城) 同一〇時 地方 (のニュース (岡)

日(金) 同八時一〇分(東)

月行大型船便多般ありた日午後一時) スパー・カー・日午後一時) 日本月十一日 日本 一十一日 日本 一十一日 日本 一十一日 日本 一十四日 Ø

京城支店

新 釜山商船租 原 医 田 租 配 要 田 租

予盟三中井・安果大和雄京城三 越・釜山三中井

村 通 壁 六月十五日午後時出来村 通 壁 六月八二日午時時人来村 通 壁 六月八二日午時時人来村 二日午時日本

法人答託公告

方域與**企良场出張所** 有關和前流中門可能於日登記 和關門與關係的一次可愛記 海洲工作的一位产业强人海洲工作的

小时和格品中可多指1分配 一次人 答記公告 一次人 答記公告 一次時期計一隻更) 明和始述年 一次時期計一隻更) 明和始述年 一次年刊 1000 日本 1000

上演奏同事间面隔极里八番地览为集间非乃封面临济里五六四条

